建物火災を未然に防ぐ

火災は、注意する事で防げます。自分や家族の命を落としたり財産を失う事がないように、火災原因を知る事も火災予防につながります。

建物火災の出火原因

1位
放火・放火の疑い

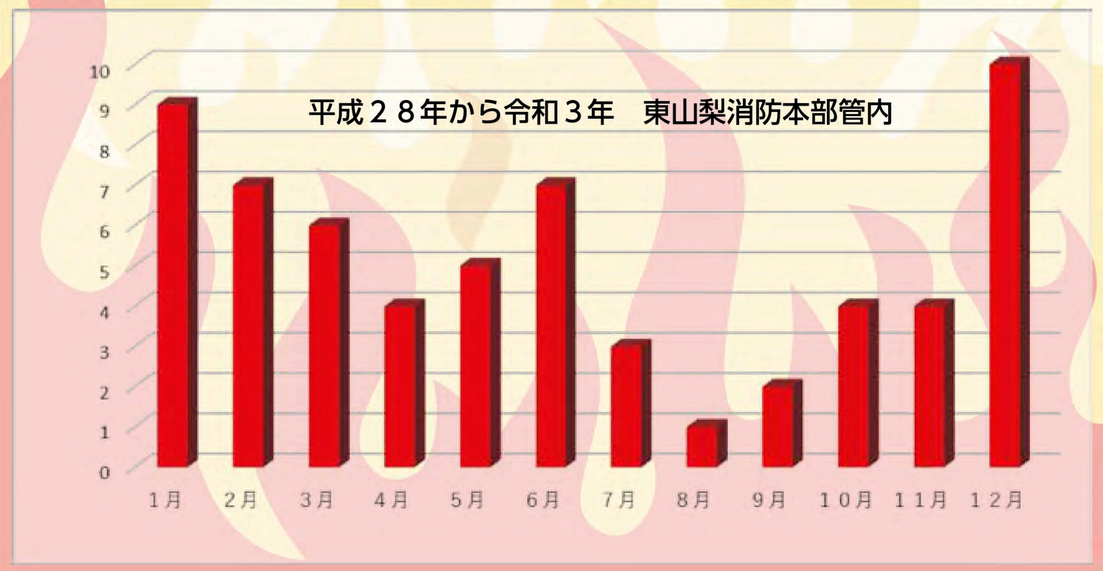
2位
たき火
(生活ごみの焼却)

3位
たばこ・取灰

(平成28年から令和３年　東山梨消防本部管内)

東山梨消防本部管内で起きた建物火災の原因で一番多いのは、**放火及び放火の疑い**です。放火を防止するためには、「放火されない・させない」環境づくりが大切です。各家庭、地域が一体となって、“安心で安全な住みよいまちづくり”を進めましょう。

建物火災の月別件数



住宅火災発生の経過

火災の発生は、「**うっかり**」から始まります。
火災発生から火の広がり方を写真とともに紹介します。

コンロの消し忘れを
例にとると……

初 期

建物の一部が燃えている時期。窓や扉などの開口部から白煙が出ている状態。

初期消火

初期消火はまだ火が小さい段階（約３分以内）で行えれば、火の拡大を阻止できるため、最小限の被害に留められます。

中 期

炎が天井面まで広がる時期。噴出する煙の色は、黒あるいは褐色となり、煙の勢いも強くなる状態。

煙の怖さ

煙の広がりの速さは火より早く、人が逃げるよりも早いため煙から逃げてください。
煙の速さ・水平方向０．５ｍ／秒
・垂直方向３～５ｍ／秒

最盛期

木造家屋で最盛期まで**約７分**
建物全体が激しく燃えている状態。
煙の量はやや少なくなるが、火災の噴出が多くなり、強烈な放射熱により隣接建物へ燃え広がる危険が増大。